

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【水木小いじめ ゼロ運動】	今年度は、笑顔アッププロジェクト・生徒指導チームが、「いじめは絶対にいけない」、「いじめは絶対にしない、させない」の2つのねらいで、いじめゼロ運動を計画した。「いじめゼロ」宣誓書に名前を書く、「いじめゼロ」シールを貼る、学級でスローガンを作成し掲示するという3つを一連として実践した。 5・6年は、学級での話し合いをもとに、再度いじめについて考えて「人権メッセージ」を書いた。代表児童のメッセージを人権コーナーに掲示した。
	成果 家庭や学級での話し合いを「めばえノート」に書くことで、いじめについて考えを深めることができた。6月に全学級のスローガンを昇降口に掲示することで、他学年のスローガンを読み、いじめに対する意識を高めることができた。
	課題 今後も毎月末のいじめアンケートで、児童の訴えを拾い上げ、聞き取りや指導を行うとともに、日頃から児童の変容の見落としが無いようにする。児童が年間を通していじめをなくすという強い意識をもてるように、2・3学期も集会などの実施が必要である。
2 実践2 【授業における 人権教育】	各学年で年度初めに年間指導計画を確認し、主に道徳科や社会科、国語科の授業と関連付けて人権教育を行った。6学年の道徳では、DVDアニメ「めぐみ」を視聴し、日本人拉致問題について考えることができた。社会科では、基本的人権やアイヌ問題についても学び、考えを深めることができた。
	成果 今まで拉致問題について知らない児童が多かったので、それを知る機会をもつことできた。授業を通して、自分と関りが無い人々にも人権があり、それを尊重するとはどういうことかを深く考えることができた。
	課題 それぞれの学年での教育活動を通して、自分と相手の人権について考える機会をもたせられるように継続して指導していく。また、普段の生活の場面で学んだことを活かせるようにしたい。 今後は人権教育の中でも性的マイノリティについて、動画を視聴したり児童に分かりやすく伝えるためのワークシートを作成したりする。